

## 子宮出身の

すべての人たちへ贈る  
感動のドキュメント



両親の不仲、虐待の経験から  
親になることに戸惑う夫婦。  
出産予定日に我が子を失った夫婦。  
子どもを望んだものの  
授けられない人生を受け入れた夫婦。  
完治しない障害を持つ子を育てる夫婦。  
全てが「生まれる」  
ストーリーです。



“僕はただ、両親と仲直りがしたくて、  
この映画を作ったのかもしれない”

自分は愛されているのだろうか… 自分は本当にこの両親の子ども  
なんだろうか… 物心ついた時から、僕はそう思っていました。  
4歳年下の弟が右目が半分開かない状態で産まれてきたことから、  
両親は弟の事で精一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らず  
に育った気がしていました。

自分はなぜ生まれたのか、何のために生きているのか… 自分  
の存在価値がよくわからなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く  
夢を描けませんでした。

そんなある日。講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれて  
くる」という胎内記憶の話の話を聞きました。

自分は好きでうまれてきたんじゃないし、子どもは親を選べないと  
ずっと思っていた僕は、非科学的でファンタジーな話とは思いつつ、  
心から感動したのです。

自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任  
があるのでは、自分も本当は愛されていたのでは… 長らく抱いて  
いた否定的な感情が少しずつ消えていくのを感じました。

「生まれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで、僕自身、  
両親との関係を築き直せるかもしれない……。

それから3年あまり。何十組ものご家族、ご夫婦を取材・撮影さ  
せていただきましたが、「生まれる」ことを知れば知るほど、そ  
の奥深さと神秘に僕は圧倒されました。

産まれてくること、そして生きることは、まさに奇跡の連続。頭では  
分かっている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょうか？  
全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めていただけたらう  
れしいです。

企画・監督・撮影 豪田トモ

あなたの町で映画『生まれる』を上映しませんか？

自主上映会サービスの詳細 & お申込は公式HPより



# 生まれる

ナレーション：つるの剛士 企画・監督・撮影：豪田トモ  
製作：インディゴ・フィルムズ / 配給・宣伝：マジックアワー  
© 2010 「生まれる」パートナーズ LLP  
2010 / 日本 / カラー / HD-35mm / 104分 / ビスタサイズ / DTS STEREO  
www.umareru.jp



命のドラマが書籍になりました。  
「生まれる かけがえのない、あなたへ」  
豪田トモ著 PHP 研究所 1,470円(税込)

福祉フェスタ2016 in 多摩市総合福祉センター (多摩市南野3-15-1 小田急唐木田駅より徒歩8分) 主催:多摩社会福祉士会

10月16日(日) 午前の部10:00/開場 10:15/上映 午後の部12:45/開場 13:15/上映  
上映会場: 5階視聴覚室ほか(午前/定員20名、午後/定員70名) 【字幕入り版】

入場料200円(障がい関係の手帳をお持ちの方と介助者および未就学児は無料)

当日直接会場へ。小さなお子様連れの方、長時間静かに観るのが難しい方のための上映会場もご用意しました。